

静岡県月例経済報告

(令和2年8月号)

……令和2年6月を中心とした県内経済のすがた……

No. 532

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・需要面	4
・生産面	12
・雇用面	14
・その他	17
III 静岡県主要産業の動向	21
IV データからみた県内主要産業	24

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和2年6月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

概況

令和2年6月を中心とした静岡県の景気は、大幅に悪化している。

先行きについては、経済活動の再開が進むにつれて、持ち直しの動きが期待されるが、新型コロナウイルス感染症の影響から、当面は、厳しい状況が続くと見込まれる。

雇用情勢は、厳しさを増している。

- ・ 個人消費は、減少している。
- ・ 設備投資は、減少している。
- ・ 輸出は、大幅に減少している。
- ・ 生産は、大幅に減少している。

(下線部は前月からの変更箇所)

需要面

「個人消費は、減少している」

大型小売店販売額(6月)は、スーパーが5か月連続で前年実績を上回ったものの、百貨店が9か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも4か月連続で前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(6月)は、コンビニエンスストアが4か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が2か月連続、ドラッグストアが8か月連続、ホームセンターが5か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(6月)は、乗用車、軽自動車がいずれも9か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも9か月連続で前年実績を下回った。

「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(6月)は、持家が3か月連続、貸家が3か月ぶり、分譲住宅が4か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも6か月連続で前年実績を下回った。

「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(6月)は、2か月連続で前年実績を上回った。

「設備投資は、減少している」

日銀短観(6月調査)の令和2年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも減少する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも減少する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(6月)は、3か月連続で前年実績を下回った。

「輸出は、大幅に減少している」

「輸入は、前年を下回った」

輸出総額（6月）は、自動車³が3か月ぶり、科学光学機器が13か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機、自動車の部分品がいずれも5か月連続、エアコンが10か月連続、二輪自動車類が6か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも5か月連続で前年実績を下回った。

また、輸入総額（6月）は、魚介類及び同調製品が11か月ぶり、木材が4か月ぶり、パルプが9か月ぶりに前年実績を上回ったものの、紙類及び同製品が3か月連続、原動機が2か月連続、自動車の部分品が15か月連続で前年実績を下回ったことから、総額でも14か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、503億円の輸出超過となった。

生産面

「生産は、大幅に減少している」

鉱工業生産指数（6月）は、はん用・生産用・業務用機械が8か月連続、電気機械、パルプ・紙・紙加工品がいずれも11か月連続、輸送機械が17か月連続、化学が5か月連続、食料品・たばこが4か月連続で前年水準を下回ったことから、総合でも13か月連続で前年水準を下回った。また、前月比は5か月ぶりに上昇した。

なお、鉱工業在庫指数（6月）は、総合では2か月ぶりに前年水準を下回った。

雇用面

「雇用情勢は、厳しさを増している」

有効求人倍率（6月）は0.96倍で、前月を0.10ポイント下回った。また、77か月ぶりに1.0倍を下回った。なお、15か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員（6月）は、10か月連続で前年実績を上回った。

また、所定外労働時間指数（5月）は、16か月連続で前年実績を下回った。

その他

「金融環境は、貸出残高、信用保証金額のいずれも前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（6月）は、前年同月比 6.1%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（6月）は、前年同月比 1185.2%増と前年実績を上回った。

「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産（7月）は、件数は16件（前年同月比 44.8%減）、負債総額は17億3,200万円（同 55.7%減）と、いずれも前年実績を下回った。

<トピックス> 職業能力開発短期大学の設置



【要 旨】

グローバル化や科学技術の進展による大きな変化に対応できる人材を育成するため、清水技術専門校及び沼津技術専門校の教育内容を高度化し、静岡県立工科短期大学校（静岡キャンパス、沼津キャンパス）を設置します。

SCoTの特色

- ◎ 現場に立って、自ら考え、行動できる**生産現場のリーダー**を育成
- ◎ 先端技術や知識だけでなく、**少人数教育で、確実に技能を習得**
- ◎ 5軸加工機、産業用ロボットなど、**最先端の機器による実習**
- ◎ 誰もが学ぶことができる**全国一安い*授業料**（年額234,600円）
※全国の職業能力開発短期大学校との比較（平均約38万円）
- ◎ **基礎から学ぶことができる普通高校出身者でも安心のカリキュラム**
- ◎ **就職に役立つ、現場の求める多様な資格を取得**（就職率100%*）
※清水・沼津技術専門校の実績

⇒こんな資格を取得できます！！

- ・ 電気主任技術者：工場やビルなどの電気設備に関する工事・保守、運用などの保安監督者になるために必要な資格
- ・ ネットワークスペシャリスト：ネットワーク情報システムの企画・開発、運用、保守を行う技術者になるために必要な資格

募集人数

静岡キャンパス

静岡市清水区楠160

- ・ 機械・制御技術科（定員30人）
- ・ 電気技術科（定員20人）
- ・ 建築設備科（定員20人）

沼津キャンパス

沼津市大岡4044-24

- ・ 機械・生産技術科（定員20人）
- ・ 電子情報技術科（定員20人）
- ・ 情報技術科（定員20人）

キャンパス

静岡キャンパス完成イメージ



【コンセプト】風と森と水のキャンパス

- 巴川（敷地西側）からの風が校舎を通り抜け、緑あふれるキャンパス
- 敷地全体を囲む形で、潜在自然植生を活用した植栽

問い合わせ：県職業能力開発課（TEL:054-221-2821）

Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

6月 = 36,061百万円

*前年同月比： 0.5%減

(県内3百貨店、151スーパー合計)

<概況>

6月の大型小売店販売額は36,061百万円で、前年同月比 0.5%減となり、4か月連続で前年実績を下回った。

業態別にみると、スーパー（前年同月比 2.6%増）が5か月連続で前年実績を上回ったものの、百貨店（同 13.8%減）が9か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、飲食料品（前年同月比 1.7%増）が5か月連続、家庭用品（同 0.7%増）が9か月ぶりに前年実績を上回ったものの、衣料品（同 8.3%減）、身の回り品（同 4.8%減）がいずれも9か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.5%増と、4か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
販売額(百万円)	33,275	41,861	33,831	30,869	35,437	31,454	34,484	36,061
前年同月比(%)	▲1.9	▲3.9	▲2.6	3.2	▲5.9	▲11.9	▲4.8	▲0.5
うち百貨店(%)	▲6.5	▲7.2	▲5.8	▲5.5	▲28.9	▲64.2	▲50.5	▲13.8
スーパー(%)	▲0.7	▲2.9	▲1.8	5.3	0.1	0.3	5.0	2.6
(参考1)全国前年同月比(%)	▲1.8	▲3.0	▲1.4	0.2	▲10.1	▲22.1	▲16.7	▲3.5
うち百貨店(%)	▲4.8	▲3.7	▲1.8	▲10.5	▲31.9	▲71.1	▲63.6	▲17.3
スーパー(%)	▲0.2	▲2.6	▲1.3	5.3	1.3	0.9	4.5	3.2
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲1.0	▲2.9	▲1.3	4.5	▲4.9	▲8.8	▲1.8	0.5

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
衣料品	▲3.2	▲8.4	▲7.0	▲3.7	▲32.8	▲63.8	▲41.5	▲8.3
うち紳士服・洋品	▲0.1	▲9.8	▲7.5	▲3.7	▲29.1	▲60.8	▲32.4	▲5.8
婦人・子供服・洋品	▲4.5	▲7.8	▲6.8	▲3.4	▲34.4	▲65.9	▲45.5	▲9.1
身の回り品	▲9.8	▲12.5	▲5.3	▲6.0	▲27.7	▲57.8	▲44.0	▲4.8
飲食料品	▲0.4	▲1.0	▲0.9	5.1	2.5	2.5	5.8	1.7
家庭用品	▲2.0	▲9.9	▲4.0	▲0.7	▲15.5	▲23.9	▲13.3	0.7
うち家庭用電気機械器具	▲8.6	▲16.5	▲9.0	▲2.2	▲25.8	▲26.1	▲12.3	▲7.2

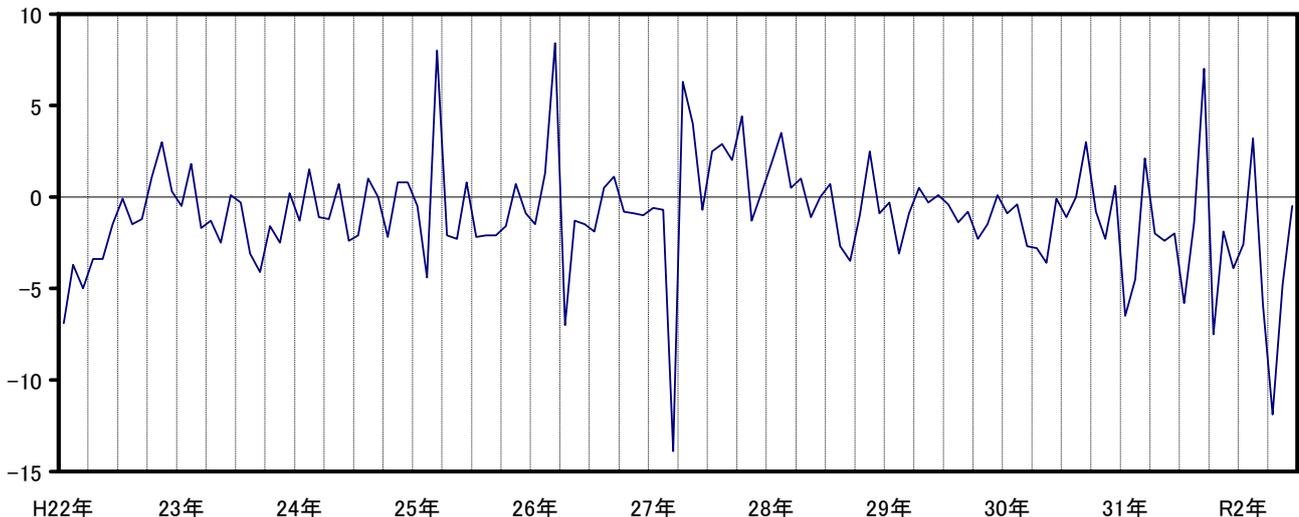
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 専門量販店等販売額

6月 = 73,680百万円

*前年同月比：5.5%増

(県内89家電大型専門店、1,675コンビニエンスストア、512ドラッグストア、110ホームセンター合計)

<概況>

6月の専門量販店等販売額は73,680百万円で、前年同月比5.5%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、コンビニエンスストア（前年同月比4.6%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同25.9%増）が2か月連続、ドラッグストア（同7.2%増）が8か月連続、ホームセンター（同14.7%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
販売額（百万円）	66,472	77,821	67,663	67,080	71,656	69,253	72,520	73,680
前年同月比（%）	1.8	▲0.4	0.7	9.4	▲0.4	0.6	2.7	5.5
うち家電大型専門店（%）	▲6.9	▲11.6	▲3.7	3.1	▲8.0	▲3.7	11.5	25.9
コンビニエンスストア（%）	2.1	▲0.3	0.5	3.5	▲5.5	▲9.3	▲9.0	▲4.6
ドラッグストア（%）	2.7	3.2	4.3	18.7	7.6	11.6	8.9	7.2
ホームセンター（%）	▲4.1	▲5.4	▲3.7	10.6	5.1	8.5	18.5	14.7
(参考)全国前年同月比（%）	1.2	▲1.1	2.1	8.5	▲1.9	▲2.9	0.2	5.8

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

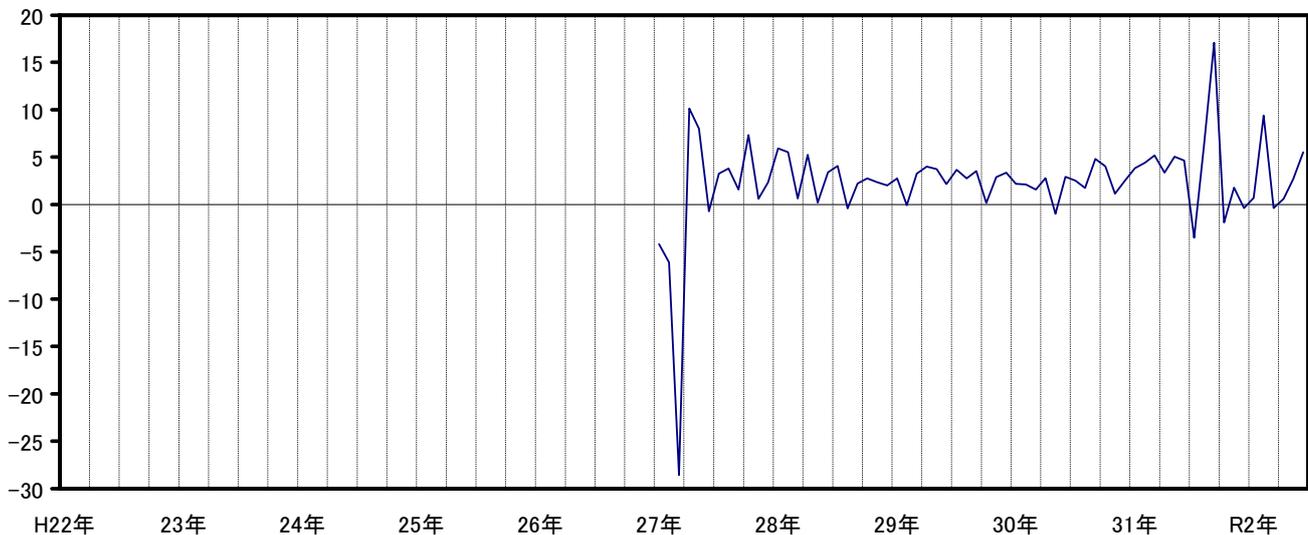
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比（%）

<資料>経済産業省



(3) 自動車(新車)新規登録台数

6月 = 11,764 台

*前年同月比： 23.8%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

6月の自動車(新車)新規登録台数は11,764台(前年同月比 23.8%減)と、9か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 27.5%減)、軽自動車(同 19.4%減)がいずれも9か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
登録台数(台)	12,913	11,882	13,792	15,947	20,352	9,339	7,392	11,764
前年同月比(%)	▲12.3	▲10.0	▲12.0	▲10.2	▲8.1	▲26.0	▲45.1	▲23.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲11.6	▲11.1	▲12.1	▲9.8	▲8.9	▲30.4	▲46.7	▲22.6

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

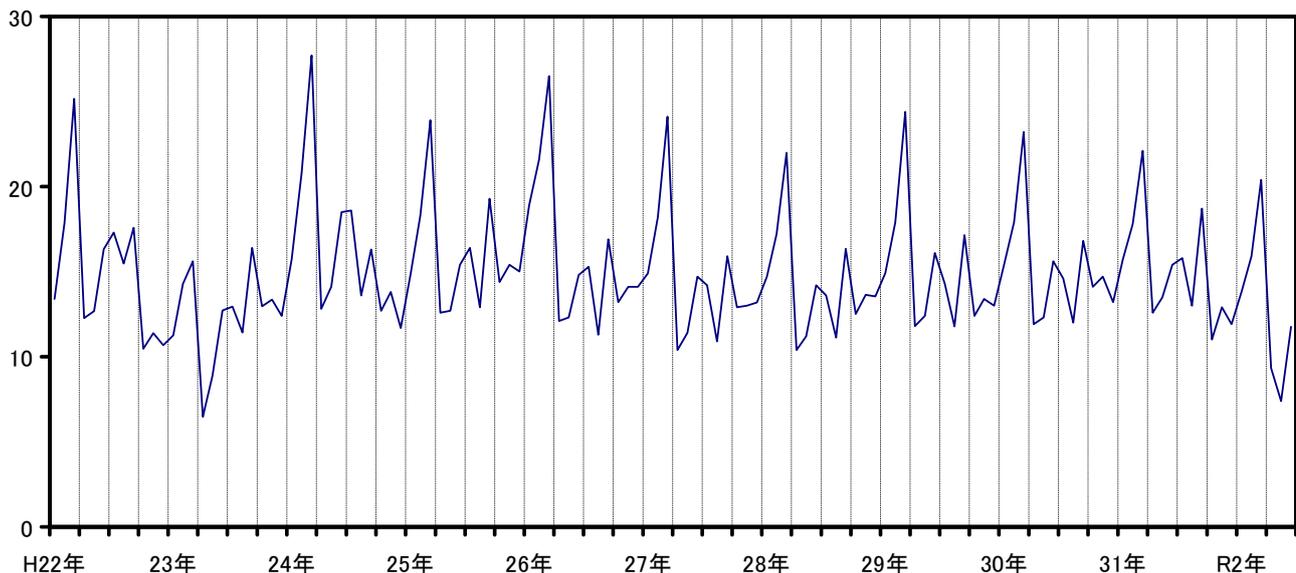
	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全乗用車	▲12.3	▲10.0	▲12.0	▲10.2	▲8.1	▲26.0	▲45.1	▲23.8
乗用車	▲18.3	▲8.3	▲16.9	▲13.2	▲11.4	▲25.7	▲42.1	▲27.5
軽自動車	▲4.5	▲12.2	▲6.2	▲6.7	▲4.0	▲26.3	▲48.5	▲19.4

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注) 全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

6月 = 1,790 戸

*前年同月比： 23.8%減

<概況>

6月の新設住宅着工戸数は1,790戸で、前年同月比 23.8%減と、6か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 17.1%減）が3か月連続、貸家（同 39.2%減）が3か月ぶり、分譲住宅（同 10.9%減）が4か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

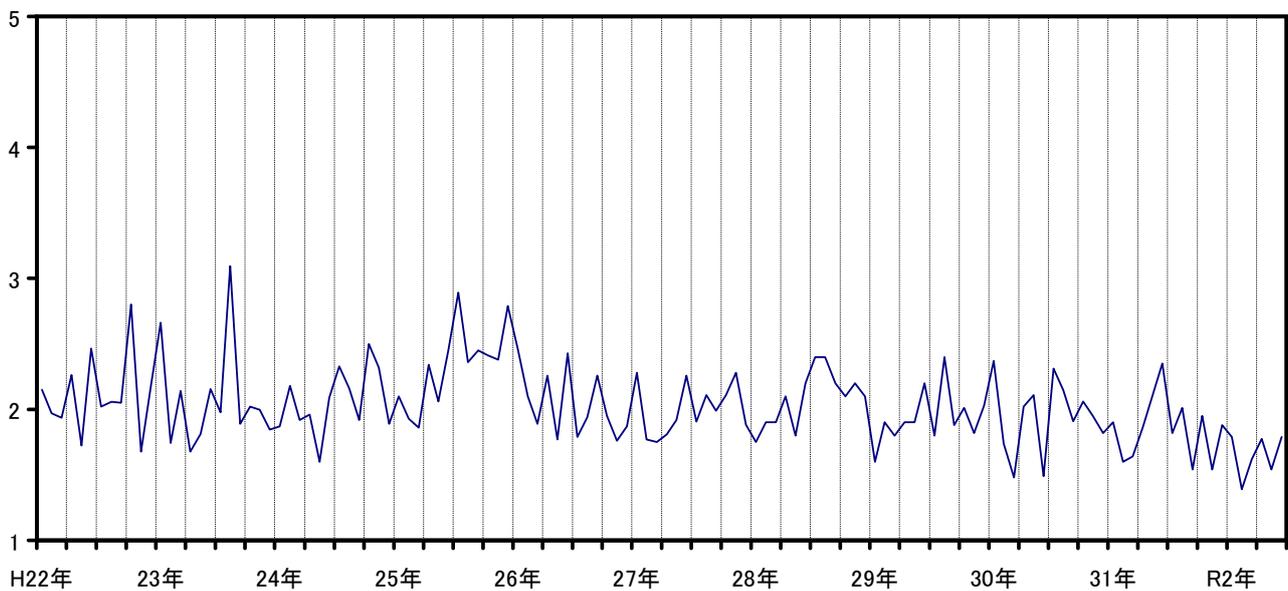
	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
戸数 (戸)	1,539	1,882	1,792	1,391	1,624	1,774	1,541	1,790
前年同月比 (%)	▲ 21.1	3.3	▲ 5.5	▲ 13.2	▲ 1.1	▲ 4.4	▲ 27.0	▲ 23.8
うち持家 (%)	▲ 7.6	▲ 6.4	▲ 8.5	▲ 18.9	5.8	▲ 8.1	▲ 40.1	▲ 17.1
貸家 (%)	▲ 46.8	20.0	▲ 10.5	▲ 21.4	▲ 6.6	15.1	18.2	▲ 39.2
分譲住宅 (%)	▲ 11.7	2.7	2.7	21.8	▲ 11.4	▲ 15.4	▲ 46.2	▲ 10.9
(参考)全国前年同月比 (%)	▲ 12.7	▲ 7.9	▲ 10.1	▲ 12.3	▲ 7.6	▲ 12.9	▲ 12.3	▲ 12.8

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

6月 = 61,723百万円

*前年同月比：49.8%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

6月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は61,723百万円で、前年同月比49.8%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は727件で、前年同月比8.5%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
金額(百万円)	17,066	15,352	14,407	13,907	21,165	68,572	51,996	61,723
前年同月比(%)	15.1	▲31.2	52.8	29.9	46.0	▲15.9	59.9	49.8
年度累計前年同月比(%)	31.4	26.5	27.3	27.4	28.3	▲15.9	5.7	17.4
件数(件)	675	545	385	297	378	664	494	727
前年同月比(%)	▲2.2	▲24.2	22.2	78.9	41.0	18.8	▲13.8	8.5
年度累計前年同月比(%)	▲1.2	▲3.6	▲2.4	▲0.6	0.8	18.8	2.3	4.6

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

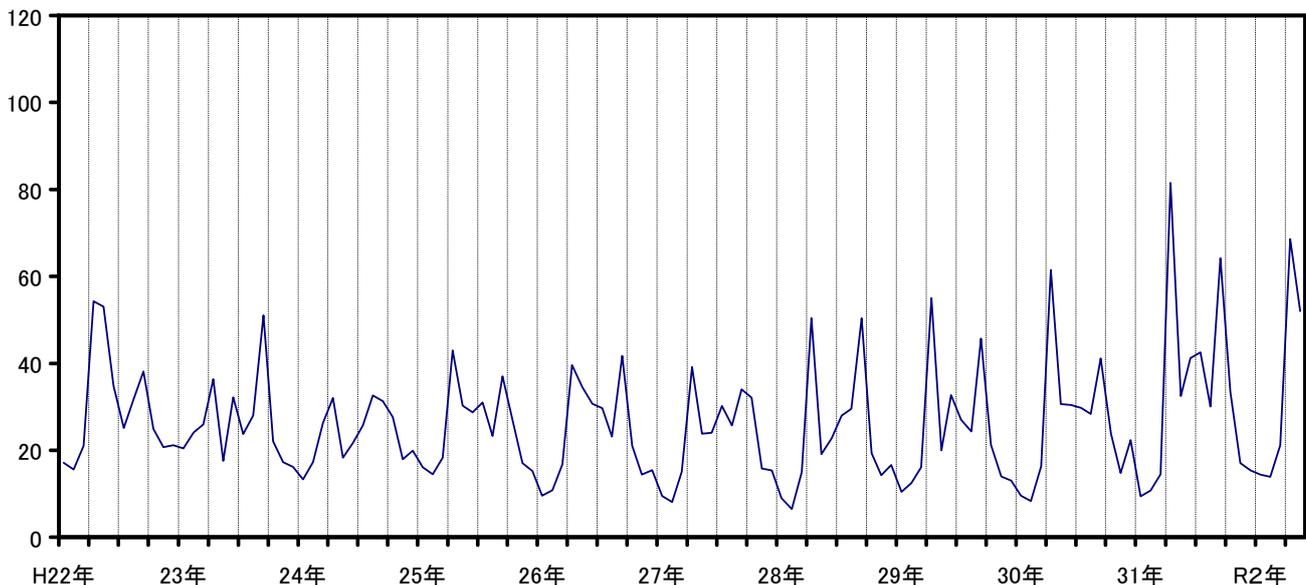
	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
国	30.5	▲28.7	24.4	79.8	58.9	▲40.4	56.2	25.7
独立行政法人等	66.2	53.0	271.0	9.4	▲86.6	▲61.1	317.0	255.2
県	83.1	▲32.8	66.0	48.6	191.3	64.1	8.8	46.2
市町	▲2.1	▲44.6	27.8	51.2	22.8	7.6	▲19.9	44.8
地方公社	▲9.7	▲82.4	1,713.8	-	-	▲85.8	-	-
その他	▲73.6	▲71.1	329.2	▲89.7	▲93.0	▲65.2	247.4	▲85.2

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

令和元年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加の計画となっている。

令和2年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 11.1%減）、非製造業（同 2.2%減）、全産業（同 6.8%減）においていずれも減少する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 3.7%減）、非製造業（同 1.6%減）、全産業（同 3.1%減）においていずれも減少する計画となっている。

6月の着工建築物床面積（非居住用）は127,714㎡で、前年同月比 21.6%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
全産業	県	(▲1.5) 5.2	(▲13.3) ▲6.8
	全国	(▲3.2) ▲0.6	(▲3.6) ▲0.8
製造業	県	(▲2.7) 9.4	(▲21.5) ▲11.1
	全国	(▲3.0) 0.9	(▲2.3) 3.1
非製造業	県	(▲0.3) 1.0	(▲3.5) ▲2.2
	全国	(▲3.4) ▲1.5	(▲4.5) ▲3.1

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
全産業	県	(▲3.2) 1.4	(▲9.9) ▲3.1
	全国	(▲2.5) 1.6	(▲2.7) 0.9
製造業	県	(▲4.6) 0.7	(▲12.4) ▲3.7
	全国	(▲1.6) 1.7	(▲1.4) 2.8
非製造業	県	(0.9) 3.0	(▲3.1) ▲1.6
	全国	(▲3.4) 1.5	(▲4.2) ▲1.0

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和2年6月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和2年6月調査)」

<最近の動き>

	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	118,282	131,035	65,693	68,069	88,664	88,441	114,434	127,714
前年同月比（%）	35.4	▲38.2	▲4.1	▲55.5	15.5	▲35.3	▲23.5	▲21.6
（参考）全国前年同月比（%）	▲9.7	▲2.5	▲25.1	▲2.6	11.5	▲9.1	▲2.6	▲18.2

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R2年3月	R2年6月	R2年9月 (予測)
全産業	全産業	▲10	▲44	▲39
	製造業	▲19	▲56	▲48
	非製造業	▲3	▲31	▲31
（参考）全国・全産業		▲4	▲31	▲34

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和2年6月調査)」

5 輸出

6 月 = 125,170百万円

*前年同月比： 29.2%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

6月の清水税関支署管内の輸出総額は125,170百万円で、前年同月比 29.2%減となり、5か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、自動車（前年同月比 90.8%増）が3か月ぶり、科学光学機器（同 30.6%増）が13か月連続で前年実績を上回ったものの、原動機（同 51.3%減）、自動車の部分品（同 60.0%減）がいずれも5か月連続、エアコン（同 36.8%減）が10か月連続、二輪自動車類（同 62.6%減）が6か月連続で前年実績を下回った。

地域別にみると、アジア向け（前年同月比 23.4%減）が4か月連続、米国向け（同 51.9%減）が11か月連続、EU向け（同 8.9%減）が7か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸出総額(百万円)	176,427	186,921	154,849	177,796	181,032	147,563	102,775	125,170
前年同月比(%)	▲2.0	▲11.5	2.6	▲1.5	▲10.3	▲13.3	▲32.6	▲29.2

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
原動機	▲13.3	▲18.5	4.9	▲13.4	▲14.7	▲37.1	▲58.9	▲51.3
エアコン	▲30.0	▲38.4	▲6.1	▲27.7	▲20.6	▲33.7	▲56.7	▲36.8
自動車	12.8	14.5	▲21.1	25.1	15.1	▲64.3	▲74.5	90.8
自動車の部分品	▲10.2	▲16.5	2.2	▲11.4	▲25.8	▲16.9	▲47.5	▲60.0
二輪自動車類	13.3	7.0	▲12.2	▲8.6	▲6.5	▲25.3	▲65.8	▲62.6
科学光学機器	8.8	20.3	52.4	42.0	19.8	7.3	43.3	30.6

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
アジア	▲3.7	▲6.4	8.0	2.4	▲14.2	▲1.2	▲13.5	▲23.4
米国	▲7.5	▲15.2	▲4.9	▲5.5	▲10.2	▲23.3	▲40.5	▲51.9
EU	11.8	▲14.9	▲0.3	▲4.3	▲11.3	▲27.4	▲51.3	▲8.9

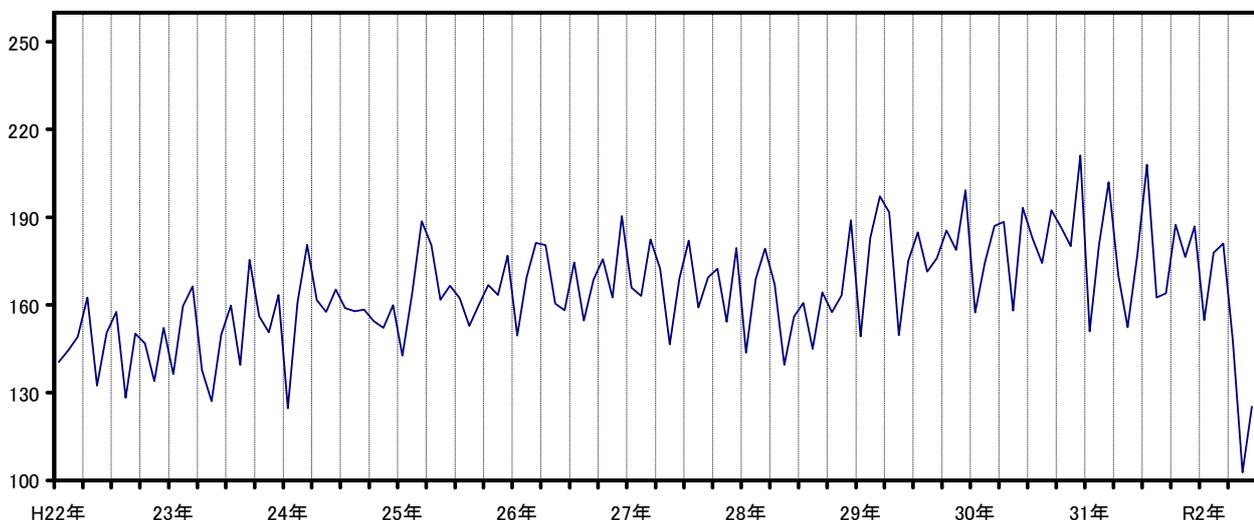
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

6月 = 74,871百万円

*前年同月比： 14.4%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

6月の清水税関支署管内の輸入総額は74,871百万円で、前年同月比 14.4%減となり、14か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、魚介類及び同調製品（前年同月比 0.6%増）が11か月ぶり、木材（同 4.7%増）が4か月ぶり、パルプ（同 4.3%増）が9か月ぶりに前年実績を上回ったものの、紙類及び同製品（同 1.3%減）が3か月連続、原動機（同 34.8%減）が2か月連続、自動車の部分品（同 53.2%減）が15か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、EUから（前年同月比 34.3%増）が11か月ぶりに前年実績を上回ったものの、アジアから（同 17.4%減）が3か月連続、米国から（同 18.2%減）が4か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	R元年11月	12月	R 2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸入総額(百万円)	91,217	80,725	90,845	66,626	89,323	87,630	75,895	74,871
前年同月比(%)	▲ 6.0	▲ 20.0	▲ 13.0	▲ 14.0	▲ 1.7	▲ 13.4	▲ 20.9	▲ 14.4

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年11月	12月	R 2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
魚介類及び同調製品	▲ 10.8	▲ 32.6	▲ 28.9	▲ 17.0	▲ 5.1	▲ 18.6	▲ 21.8	0.6
木材	11.4	2.4	▲ 13.9	6.4	▲ 27.9	▲ 17.4	▲ 43.3	4.7
パルプ	▲ 33.9	▲ 15.6	▲ 50.3	▲ 15.5	▲ 19.7	▲ 27.1	▲ 45.9	4.3
紙類及び同製品	▲ 14.5	15.2	▲ 7.9	54.2	8.5	▲ 8.1	▲ 28.0	▲ 1.3
原動機	▲ 15.4	▲ 15.5	▲ 20.5	▲ 29.0	44.1	4.6	▲ 41.5	▲ 34.8
自動車の部分品	▲ 40.3	▲ 34.6	▲ 9.9	▲ 41.2	▲ 5.0	▲ 32.0	▲ 63.4	▲ 53.2

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

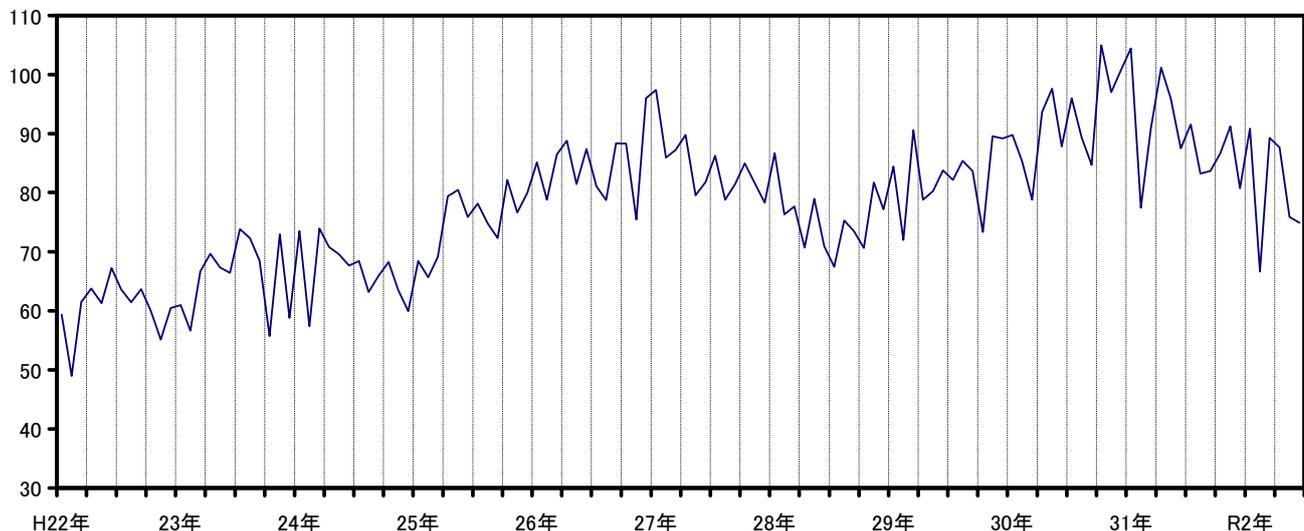
	R元年11月	12月	R 2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
アジア	▲ 10.1	▲ 14.4	3.7	▲ 26.9	7.1	▲ 15.2	▲ 29.7	▲ 17.4
米国	▲ 8.2	▲ 10.7	▲ 12.5	▲ 15.4	3.1	33.7	36.8	▲ 18.2
EU	▲ 27.1	▲ 32.9	▲ 40.9	▲ 18.6	▲ 18.3	▲ 18.9	▲ 33.0	34.3

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

6月 = 82.2

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 17.1%増

*前年同月比(原指数) : 14.4%減

<概況>

6月の鉱工業生産指数(総合)は82.2(季節調整済指数)で、前月比17.1%増と、5か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は14.4%減と、13か月連続で前年水準を下回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比17.7%減)が8か月連続、電気機械(同20.3%減)、パルプ・紙・紙加工品(同8.9%減)がいずれも11か月連続、輸送機械(同8.3%減)が17か月連続、化学(同5.3%減)が5か月連続、食料品・たばこ(同20.7%減)が4か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	102.3	98.9	100.8	98.6	95.4	75.9	70.2	82.2
前月比(%)	2.6	▲3.3	1.9	▲2.2	▲3.2	▲20.4	▲7.5	17.1
前年同月比(%)	▲5.8	▲5.9	▲4.3	▲7.1	▲5.7	▲27.0	▲34.5	▲14.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲8.1	▲3.1	▲2.5	▲4.7	▲5.2	▲15.0	▲26.3	▲17.7

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲0.5	▲4.5	▲7.6	▲15.3	▲9.1	▲31.2	▲26.6	▲17.7
電気機械工業	▲4.7	▲8.3	▲16.0	▲21.8	▲8.1	▲22.5	▲32.7	▲20.3
輸送機械工業	▲6.6	▲8.5	▲5.7	▲6.2	▲5.8	▲53.7	▲55.6	▲8.3
化学工業	▲7.7	3.0	3.0	▲1.8	▲1.8	▲7.4	▲11.9	▲5.3
パルプ・紙・紙加工品工業	▲9.4	▲4.2	▲5.4	▲5.4	▲6.4	▲4.4	▲7.9	▲8.9
食料品・たばこ工業	0.4	▲3.4	2.8	3.2	▲1.4	▲5.3	▲31.1	▲20.7

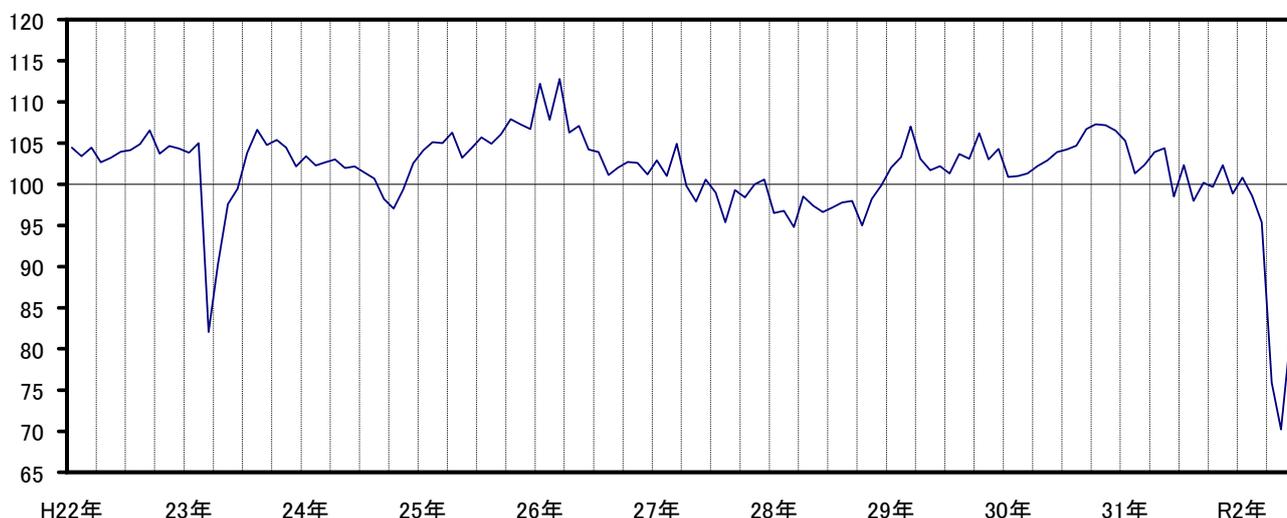
(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

6 月 = 105.7

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 4.6%減

*前年同月比(原指数) : 0.8%減

<概況>

6月の鋳工業在庫指数(総合)は105.7(季節調整済指数)で、前月比は4.6%減と、4か月ぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は0.8%減と、2か月ぶりに前年水準を下回った。
 なお、在庫動向を在庫循環図で見ると、今期は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。
 業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比 17.0%増)が18か月連続、輸送機械(同 43.1%増)が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同 1.7%増)が4か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械(同 0.8%減)が6か月連続、化学(同 2.3%減)が3か月ぶり、食料品・たばこ(同 7.9%減)が16か月ぶりに前年水準を下回った。

<最近の動き>

	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	109.0	113.8	114.7	108.0	109.6	110.0	110.8	105.7
前月比(%)	1.3	4.4	0.8	▲5.8	1.5	0.4	0.7	▲4.6
前年同月比(%)	▲0.8	▲0.4	4.8	1.3	▲2.6	▲0.4	4.8	▲0.8
(参考)全国前年同月比(%)	1.5	1.3	3.8	1.4	2.9	2.7	▲0.5	▲3.4

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
はん用・生産用・業務用機械工業	33.4	29.6	31.3	31.0	31.3	21.9	16.8	17.0
電気機械工業	2.4	3.7	▲0.4	▲11.7	▲9.7	▲8.7	▲4.9	▲0.8
輸送機械工業	▲27.3	▲19.3	6.8	32.5	▲5.9	▲27.1	10.6	43.1
化学工業	4.9	▲3.6	6.8	▲10.9	▲2.0	6.9	21.9	▲2.3
パルプ・紙・紙加工品工業	0.3	8.8	10.5	6.9	▲6.9	▲8.3	▲0.6	1.7
食料品・たばこ工業	5.0	20.2	6.0	11.8	3.4	13.4	7.1	▲7.9

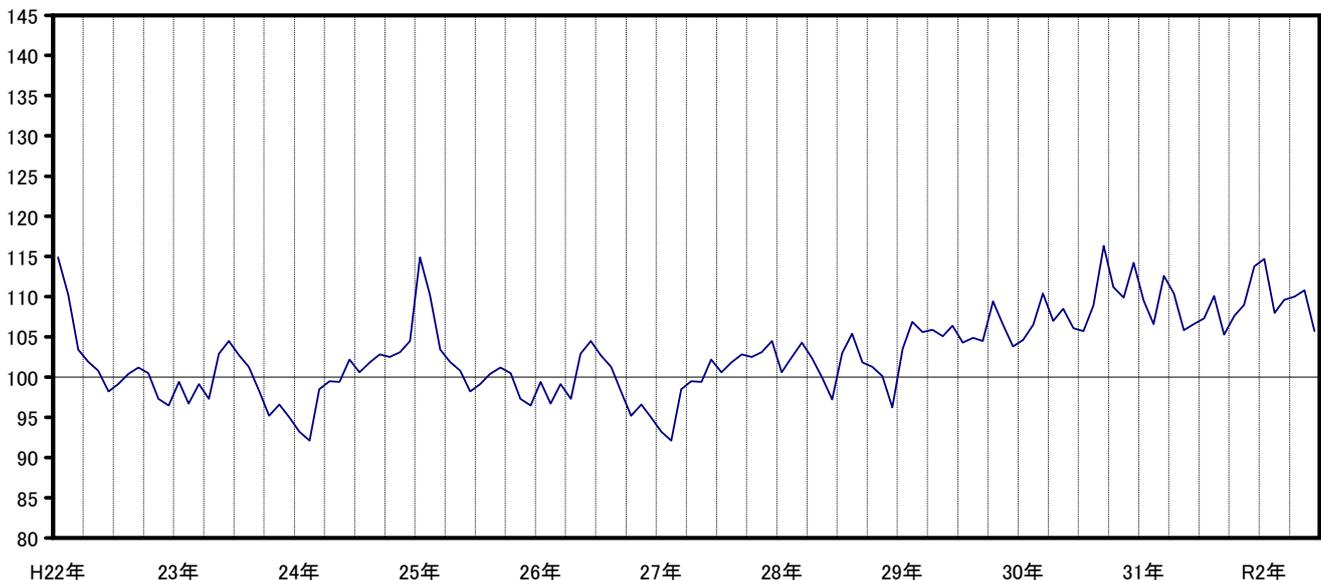
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

6 月 = 0.96倍

*前月比（季節調整値）： 0.10ポイント減

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

6月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は0.96倍となり、前月を0.10ポイント下回った。また、15か月連続で全国値を下回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比 29.1%減）は22か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、建設業（前年同月比 4.4%減）、運輸業・郵便業（同 25.3%減）、卸売業・小売業（同 31.7%減）がいずれも6か月連続、製造業（同 42.5%減）が19か月連続、情報通信業（同 28.8%減）が5か月連続、医療・福祉（同 18.7%減）が8か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同 51.1%減）が14か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	R元年11月	12月	R 2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
県	1.47	1.47	1.38	1.27	1.22	1.17	1.06	0.96
全 国	1.57	1.57	1.49	1.45	1.39	1.32	1.20	1.11

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R元年11月	12月	R 2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
建 設 業	▲ 7.0	2.0	▲ 13.4	▲ 17.6	▲ 9.1	▲ 9.4	▲ 0.5	▲ 4.4
製 造 業	▲ 26.3	▲ 16.2	▲ 26.2	▲ 28.1	▲ 31.2	▲ 38.5	▲ 43.6	▲ 42.5
情 報 通 信 業	13.2	▲ 37.7	2.5	▲ 29.4	▲ 53.3	▲ 22.8	▲ 29.6	▲ 28.8
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲ 12.8	21.4	▲ 10.5	▲ 6.7	▲ 9.1	▲ 23.4	▲ 15.8	▲ 25.3
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 20.0	0.4	▲ 25.1	▲ 27.6	▲ 12.2	▲ 22.6	▲ 35.7	▲ 31.7
医 療 ・ 福 祉	▲ 7.4	▲ 9.3	▲ 3.3	▲ 17.2	▲ 16.8	▲ 10.7	▲ 27.7	▲ 18.7
サービス業（他に分類されないもの）	▲ 41.2	▲ 13.0	▲ 42.6	▲ 51.4	▲ 41.1	▲ 51.1	▲ 52.1	▲ 51.1
合 計	▲ 18.5	▲ 5.8	▲ 23.3	▲ 28.9	▲ 18.9	▲ 30.1	▲ 32.9	▲ 29.1

（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

6月 = 14,183人

*前月比: 21.8%増

*前年同月比: 33.3%増

<概況>

6月の雇用保険受給者実人員は14,183人で、前月比は21.8%増と、2か月連続で前月を上回った。また、前年同月比は33.3%増と10か月連続で前年実績を上回った。

完全失業率(全国)は2.8%と前月から0.1ポイント改善した。

静岡県(令和2年1月～3月)の完全失業率は2.0%で、前期(令和元年10月～12月)と同水準だった。

<最近の動き>

	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
実人員(人)	10,895	10,675	10,717	10,142	10,192	9,880	11,648	14,183
前月比(%)	▲5.7	▲2.0	0.4	▲5.4	0.5	▲3.1	17.9	21.8
前年同月比(%)	6.9	11.5	8.0	6.5	7.7	1.6	8.0	33.3
(参考)全国前年同月比(%)	1.5	8.1	6.2	3.6	6.7	1.0	3.0	25.8

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
完全失業率(全国)(%)	2.2	2.2	2.4	2.4	2.5	2.6	2.9	2.8

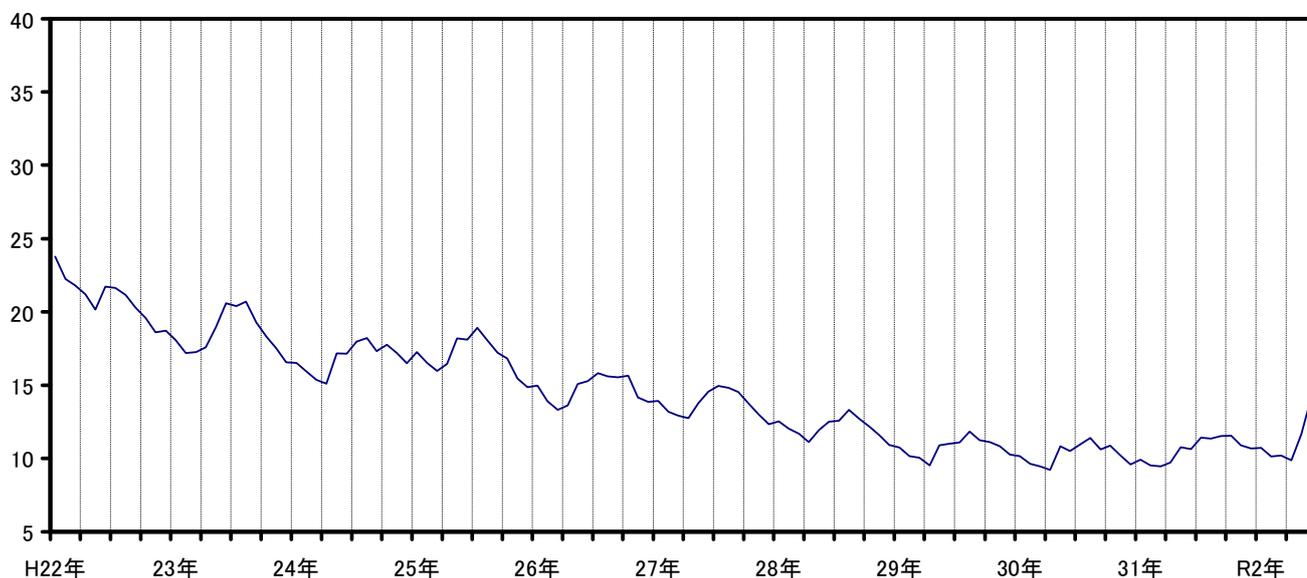
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

5 月 = 55.1

* 前月比(季節調整済指数)： 23.0%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) * 前年同月比(原指数) : 38.2%減

<概況>

5月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は55.1(季節調整済指数)で、前月比23.0%減となった。また、前年同月比(原指数)は38.2%減と16か月連続で前年実績を下回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比2.5%増)が12か月連続で前年実績を上回ったものの、製造業(同54.1%減)が19か月連続、情報通信業(同25.8%減)が6か月連続、運輸業・郵便業(同25.2%減)が7か月連続、卸売業・小売業(同25.6%減)、その他のサービス業(同35.7%減)がいずれも2か月連続で前年実績を下回った。、医療・福祉は前年と同水準だった。

<最近の動き>

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
指数	85.1	81.8	84.4	90.8	88.1	89.9	71.6	55.1
前月比(%)	▲2.9	▲3.9	3.2	7.6	▲3.0	2.0	▲20.4	▲23.0
前年同月比(%)	▲10.1	▲13.8	▲8.2	▲3.2	▲6.1	▲3.1	▲22.3	▲38.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.3	▲3.8	▲3.9	▲2.5	▲3.2	▲7.1	▲19.1	▲30.6

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月
建設業	152.7	159.7	178.9	73.3	113.8	96.1	39.8	2.5
製造業	▲19.8	▲21.3	▲16.2	▲9.6	▲11.5	▲7.1	▲30.1	▲54.1
情報通信業	▲6.7	1.2	▲8.3	▲24.4	▲20.9	▲20.6	▲36.1	▲25.8
運輸業・郵便業	3.5	▲2.2	▲1.8	▲11.9	▲9.3	▲14.0	▲26.9	▲25.2
卸売業・小売業	21.9	5.3	11.8	3.9	▲1.3	13.9	▲12.5	▲25.6
医療・福祉	0.0	▲20.5	▲1.7	▲1.4	▲14.6	▲11.9	▲1.4	0.0
その他のサービス業	▲5.7	0.0	▲6.7	▲6.5	▲7.4	0.0	▲10.5	▲35.7
調査産業計	▲10.1	▲13.8	▲8.2	▲3.2	▲6.1	▲3.1	▲22.3	▲38.2

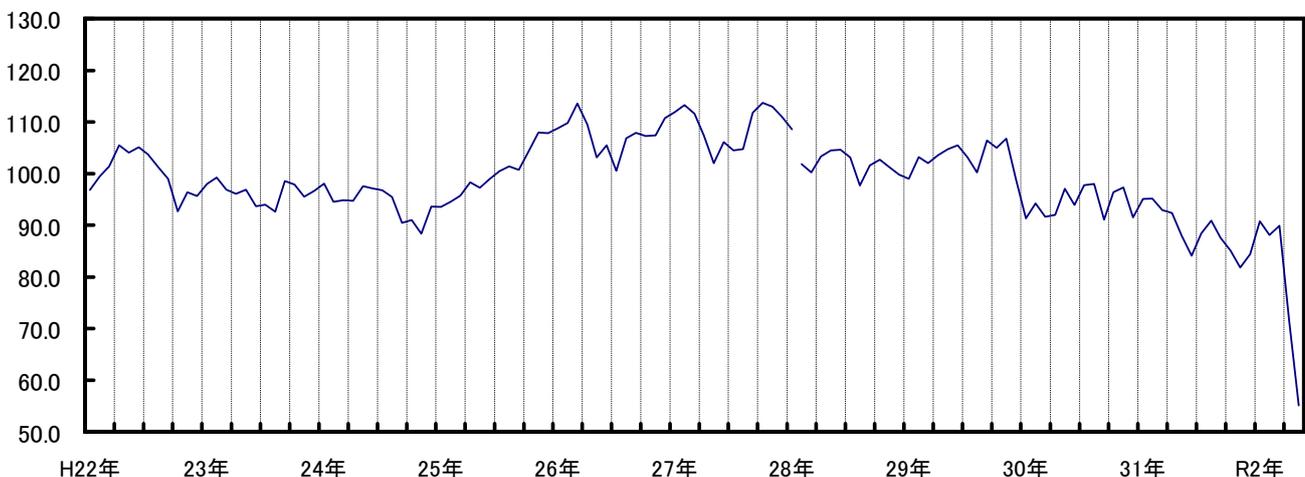
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

7 月 = 100.2

*前 月 比: 0.6%上昇

(平成27年=100)

*前年同月比: 0.9%下落

<概 況>

7月の国内企業物価指数は100.2となり、前月を0.6%の上昇となった。また、前年同月比は0.9%の下落となった。

<最近の動き>

	R元年12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
国内企業物価指数	102.1	102.4	101.9	101.0	99.5	99.0	99.6	100.2
前 月 比 (%)	0.2	0.1	▲ 0.5	▲ 0.9	▲ 1.5	▲ 0.5	0.6	0.6
前年同月比 (%)	0.9	1.5	0.7	▲ 0.5	▲ 2.4	▲ 2.8	▲ 1.6	▲ 0.9

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

6 月 = 144,316億円

*前 月 比: 1.2%増

(銀行、信用金庫)

*前年同月比: 6.1%増

<概 況>

6月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は144,316億円で、前月比は1.2%の増加となった。また、前年同月比は6.1%の増加となった。

	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
貸出残高(億円)	135,303	136,220	136,481	136,721	137,249	138,387	142,636	144,316
前 月 比 (%)	0.2	0.7	0.2	0.2	0.4	0.8	3.1	1.2
前年同月比 (%)	▲ 1.5	▲ 1.9	▲ 0.8	▲ 0.4	▲ 0.8	1.7	5.4	6.1

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

6 月 = 1.686%

*前 月 差: 0.024ポイント減

(県内地銀4行総平均)

*前年同月差: 0.127ポイント減

<概 況>

6月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.686%で、前月から0.024ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.127ポイントのマイナスとなった。

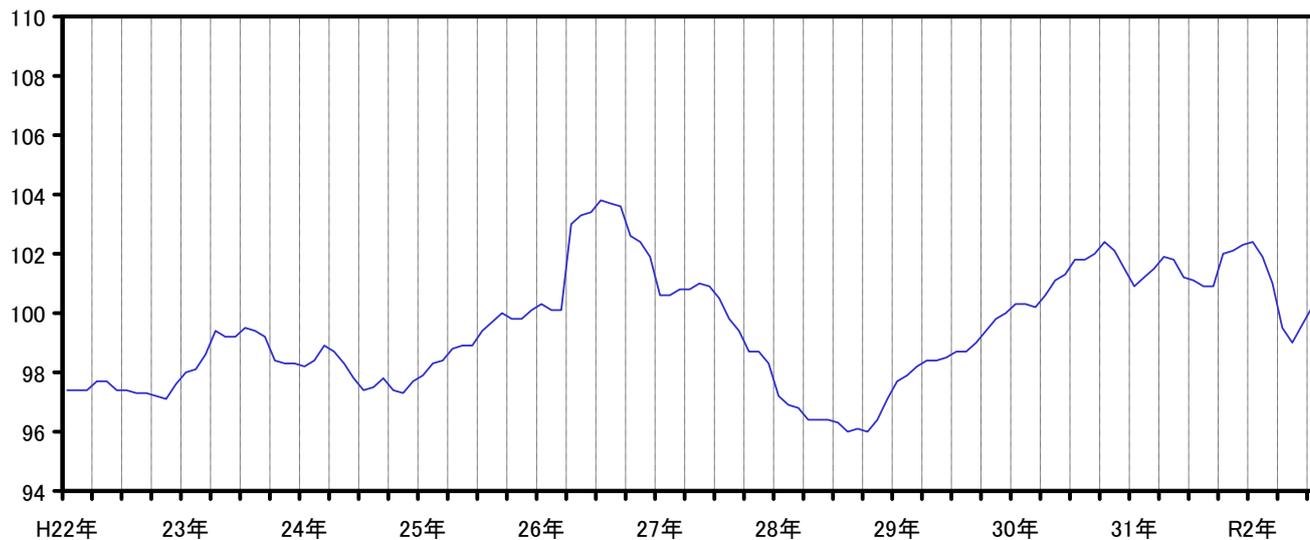
	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
貸出約定金利(%)	1.758	1.739	1.769	1.761	1.740	1.723	1.710	1.686
前月差(ポイント)	▲ 0.012	▲ 0.019	0.030	▲ 0.008	▲ 0.021	▲ 0.017	▲ 0.013	▲ 0.024
前年同月差(ポイント)	▲ 0.194	▲ 0.186	▲ 0.151	▲ 0.148	▲ 0.145	▲ 0.117	▲ 0.123	▲ 0.127

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

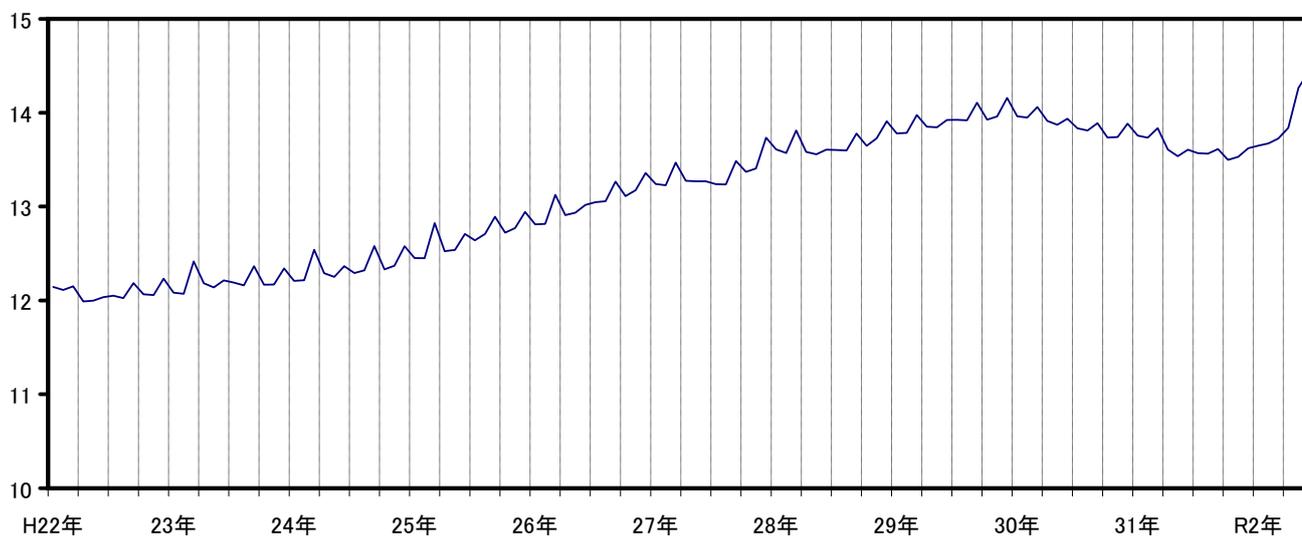
国内企業物価指数(平成27年=100)

<資料>日本銀行



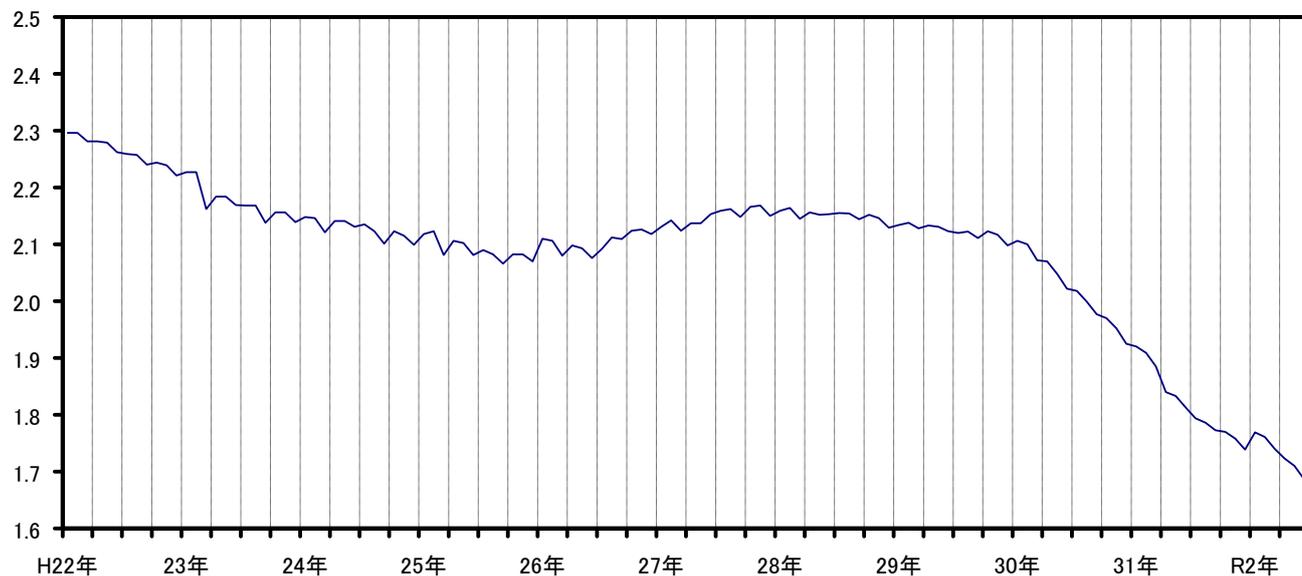
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**6月 = 174,381百万円**

*前年同月比：1185.2%増

<概況>

6月の保証承諾は、金額は174,381百万円（前年同月比1185.2%増）、件数は12,152件（同786.5%増）と、いずれも4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R元年11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
保証金額(百万円)	20,407	20,126	13,977	14,832	28,818	132,181	172,545	174,381
前年同月比(%)	14.8	2.9	9.9	▲7.4	49.6	1,178.7	1,345.9	1,185.2
保証件数(件)	2,011	2,028	1,416	1,550	2,582	6,152	8,566	12,152
前年同月比(%)	15.3	7.4	5.7	▲2.7	34.0	459.4	609.2	786.5

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**7月 = 106.78円/ドル**

*前月差：0.78円高

(東京・銀行間直物中心・平均)

*前年同月差：1.44円高

<概況>

7月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は106.78円で、前月と比べて0.78円の円高となり、2か月ぶりに円高となった。

<最近の動き>

	R元年12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
平均相場(円)	109.18	109.34	109.96	107.29	107.93	107.31	107.56	106.78
前月差(円)	0.32	0.16	0.62	▲2.67	0.64	▲0.62	0.25	▲0.78
前年同月差(円)	▲3.27	0.39	▲0.40	▲3.92	▲3.73	▲2.52	▲0.50	▲1.44

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****7月 = 16件**

*前年同月比：44.8%減

<概況>

7月の負債総額1,000万円以上の企業倒産は、件数は16件（前年同月比44.8%減）、負債総額は1,732百万円（同55.7%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が14件と全体の87.5%を占め、272か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

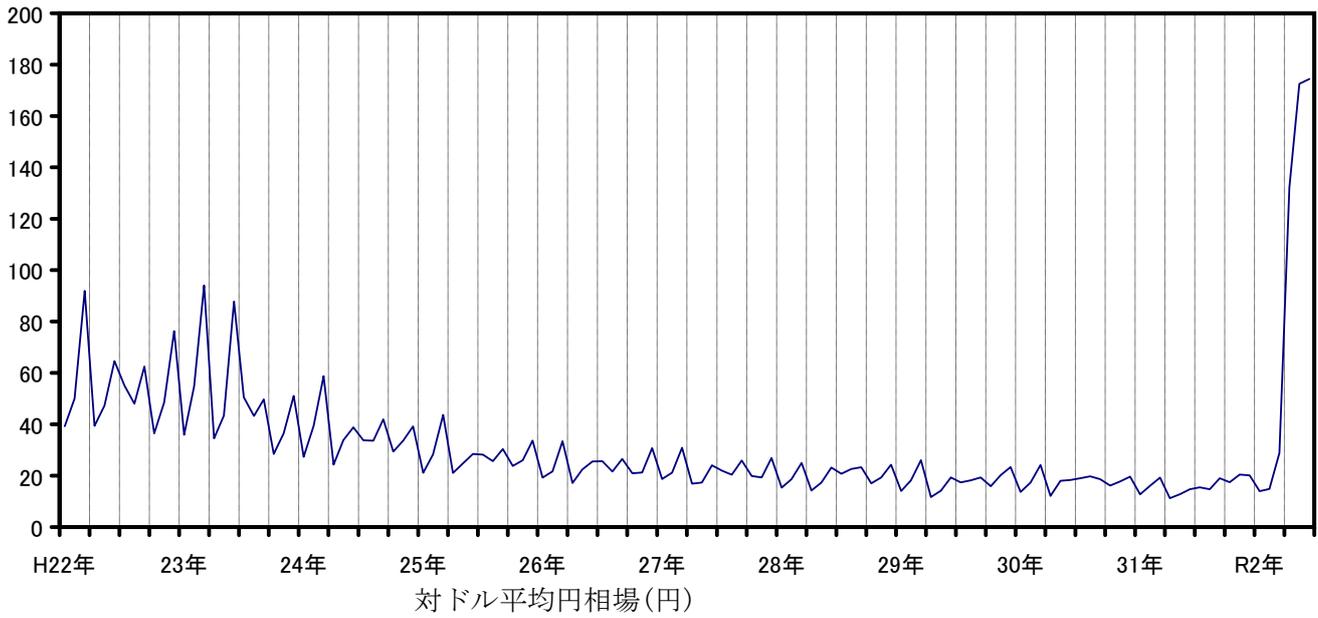
	R元年12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
倒産件数(件)	12	18	11	18	24	11	32	16
前年同月比(%)	▲29.4	20.0	▲8.3	50.0	41.1	▲35.2	128.5	▲44.8
うち不況型倒産件数(件)	10	14	11	17	21	9	29	14
負債総額(百万円)	41,289	5,945	1,448	2,270	7,493	1,669	2,398	1,732
前年同月比(%)	1,558.8	381.3	▲3.1	▲47.5	191.3	▲9.6	▲24.8	▲55.7

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社

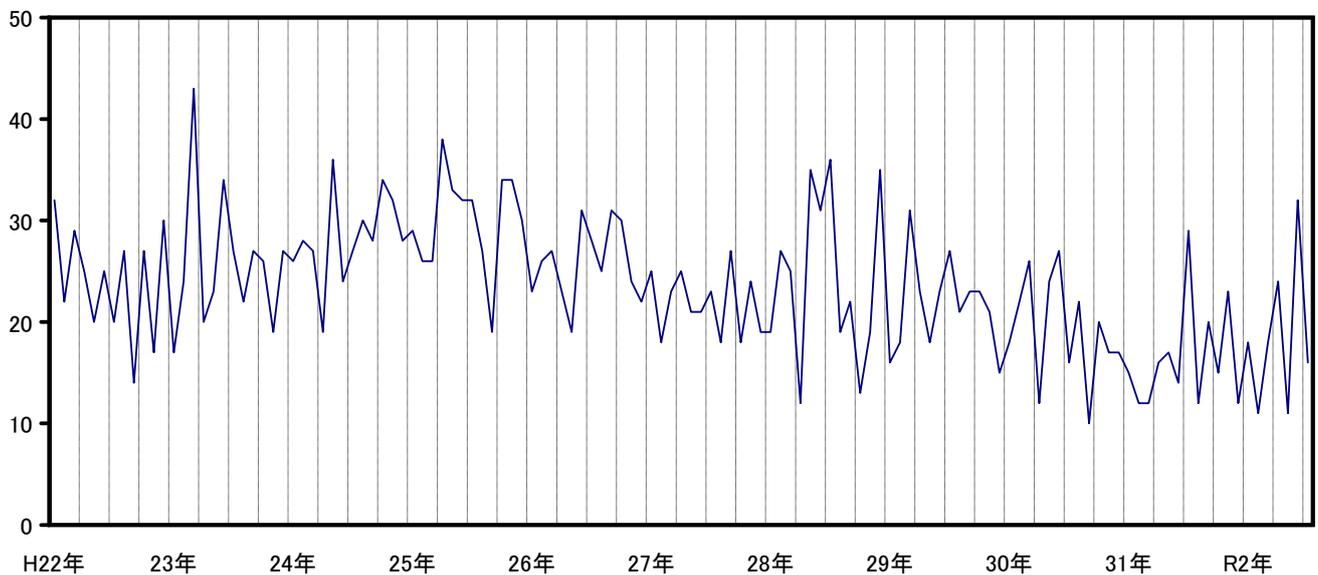
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 令和2年6月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>5月の国内二輪車生産台数は、19,311台（前年同月比 52.9%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、9,715台（同 24.1%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。原付第二種（51cc～125cc）は、1,375台（同 63.8%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、847台（同 83.3%減）と、2か月ぶりに前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、7,374台（同61.9%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、23,082台（同 23.7%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、9,140台（同 60.0%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>5月の自動車国内生産台数は、308,061台（前年同月比 61.1%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。輸出は119,920台（同 66.2%減）と、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が8か月連続、トラックが10か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>6月の冷蔵庫の国内出荷額は494億円（前年同月比 6.6%減）と、2か月連続で前年実績を下回り、国内出荷台数は419千台（同 1.3%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>6月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,844千台（同 10.9%増）と、9か月ぶりに前年実績を上回った。業務用は85千台（同 15.0%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>6月の携帯電話の国内出荷台数は、1,126千台（同 21.8%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、839千台（同 22.6%減）と、3か月ぶりに前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は74.6%だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>6月の工作機械の受注総額は、671億9,000万円（前年同月比 32.1%減）と、21か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は438億2,800万円（同 28.4%減）と、21か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが212億1,300万円（同 15.3%減）と、25か月連続で前年実績を下回った。内需は233億6,200万円（同 38.0%減）と、19か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業からは、「仕事量が激減し、資金繰りが苦しい。」という声や「納期未定の商談は多少あるものの先行き見通しが立たない。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>6月の県内楽器メーカーの販売金額は、27億8,499万円（前年同月比49.7%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。内訳は、輸出向けが12億4,138万円（同56.0%減）と、国内向けが15億4,361万円（同43.3%減）だった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,251台（同25.5%減）だった。機種別では、アップライトピアノが1,571台（同21.3%減）、グランドピアノが680台（同33.7%減）だった。また、販売台数は、輸出向けが1,168台（同48.4%減）、国内向けが613台（同50.7%減）だった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>6月の紙・板紙の国内出荷高は、1,634千トン（前年同月比14.5%減）と、11か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は777千トン（同22.1%減）と、11か月連続で前年実績を下回った。板紙は857千トン（同6.2%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、382千トン（同30.3%減）と、11か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、137千トン（同6.5%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>6月の県内生産量は、食缶類は、国内向けが1,145千箱（前年同月比21.0%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は793千箱（同28.9%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。うち、主力であるツナ缶は627千箱（同40.3%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は352千箱（同6.3%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,190千箱（同13.1%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>6月の広幅織物の県内生産は、732千㎡（前年同月比37.0%減）と、13か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、667千㎡（同38.4%減）と、15か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、65千㎡（同19.4%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、15千㎡（同41.3%減）お、27か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>6月の全国百貨店での家具販売額は、35億4,735万円（前年同月比21.7%減）と、9か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、738億2,891万円（同22.3%増）と、9か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業種	産業動向
小売業	<p>6月の県内百貨店・スーパーの販売額は、36,061百万円（既存店前年同月比0.5%減）と前年実績を下回った。品目別では、飲食料品と家庭用品を除く品目（衣料品、身の回り品、その他の商品、食堂・喫茶）で前年同月を下回り、特に、食堂・喫茶の減少幅が大きかった。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、新型コロナウイルス感染拡大防止のために営業時間を短縮したことや、消費者の外出自粛の影響で、売上げ、来客数ともに、前年同月を大きく下回った。</p> <p>中部の総合スーパーへの聞き取りによると、新型コロナウイルスの影響で、家で食事をする消費者が増加したことにより、食料品の売上げが大きく伸び、全体の売上げは、前年実績と比較して増加した。また、まとめ買いをする消費者が増加した影響で、客単価も前年同月を上回った。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りにおいても、家で料理をする消費者が増えた影響で、青果、精肉、鮮魚等といった素材の売上げが増加し、全体の売上げも前年同月を上回った。</p> <p>百貨店の売上げが低迷する一方で、食料品を主に扱う総合スーパーや食品スーパーの売上げは増加しており、不要不急の買い物や外食を控える消費者の行動が、各業態に影響を与えていた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観光	<p>6月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約23万人と、前年同月比28.6%減だった。</p> <p>前月に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた施設が多かったが、西遠地域の施設及び屋外の施設の中には、客数が対前年同月を上回る施設もあった。</p> <p>主要有料道路（4路線^{※1}）の合計通行車両数は、約42万台となり、前年同月比36.3%減だった。</p> <p>※1 遠州大橋（新掛塚橋）が令和元年9月28日から無料化されたことに伴い、令和元年10月から対象が5路線から4路線へと減少</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞ 静岡県観光政策課</p>

= IVデータからみた県内主要産業 =

<二輪車>

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
完成車生産台数(台)	25,844	26,437	24,281	26,140	25,984	20,626	18,471	4,821	12,273
前年同月比(%)	▲11.7	0.9	▲1.1	7.6	3.1	▲5.6	▲2.3	▲74.0	▲30.8
KD輸出額(百万円)	1,233	1,576	1,544	1,278	1,559	1,524	1,082	32	526
前年同月比(%)	58.2	112.2	104.9	67.1	91.1	91.8	25.4	▲97.2	▲43.5

<楽器>

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
生産総額(百万円)	3,283	3,211	3,099	3,062	2,707	3,166	1,997	1,130	2,128
前年同月比(%)	▲5.6	▲4.1	5.0	8.9	▲10.7	0.5	▲39.6	▲64.6	▲32.5

<缶詰>

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
食缶生産高(千ケース)	1,036	1,110	993	873	842	1,006	1,173	1,113	1,145
前年同月比(%)	▲0.7	7.3	4.7	▲5.7	▲5.5	▲0.2	17.2	25.0	21.0
うち水産缶詰(%)	▲5.9	2.8	▲1.8	▲16.9	▲8.3	1.2	18.5	29.1	28.9
農畜産缶詰(%)	11.7	17.9	19.8	23.9	0.2	▲2.8	14.4	16.6	6.3
飲料缶生産高(千ケース)	6,575	7,153	5,910	4,888	6,002	8,263	7,742	6,986	7,190
前年同月比(%)	▲4.5	2.1	▲3.7	5.1	8.1	6.9	▲0.0	▲13.1	▲13.1

<繊維>

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
広幅織物(千㎡)	1,370	1,530	1,381	1,302	1,216	1,164	1,028	755	732
前年同月比(%)	▲8.4	▲11.0	▲15.7	▲15.0	▲12.7	▲14.3	▲19.6	▲37.4	▲37.0
小幅織物(千㎡)	26	26	25	25	24	22	20	17	15
前年同月比(%)	▲10.8	▲14.3	▲16.6	▲14.2	▲13.7	▲16.4	▲25.5	▲32.8	▲41.3

<観光>

	R元年10月	11月	12月	R2年1月	2月	3月	4月	5月	6月
観光施設(10施設)入込 (千人)	313	382	264	313	301	345	131	21	234
前年同月比(%)	▲15.9	▲2.9	▲6.7	2.3	8.2	▲28.2	▲76.5	▲96.7	▲28.6
有料道路(4路線)通行量 (千台)	495	556	564	512	556	532	318	315	420
前年同月比(%)	▲9.4	▲1.8	0.7	▲1.2	8.4	▲13.3	▲55.8	▲58.5	▲36.3

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
令和2年8月号 通巻532号

発行 静岡県経済産業部
令和2年8月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>